

様式第6号（第18条関係）

宮崎市地域コミュニティ活動交付金実績報告書

令和7年5月1日

宮崎市長 清山 知憲 殿

主たる事務所の所在地 宮崎市橘通西3丁目10番32号
名 称 中央東まちづくり推進委員会
代表者の氏名 委員長 太田 修子
電 話 番 号 0985-27-6240

令和7年3月7日付けで交付決定のありました宮崎市地域コミュニティ活動交付金については、宮崎市地域コミュニティ活動交付金に関する規則第18条第1項の規定により、関係書類を添えて実績報告を提出します。

添付書類

- (イ) 事業実施報告書・収支決算書
- (ロ) 事業別収支計算書
- (ハ) 宮崎市地域コミュニティ活動交付金繰越届出書
- (ニ) 地域まちづくり推進委員会備品管理台帳の写し
- (ホ) 地域協議会の意見書

1 総括

年度当初計画していた事業については概ね実施できたが、天候や会場の関係で変更や中止した事業があり残念であった。また、新しい事業に取り組むことができ、今まで参加されなかった年代の方々も参加され多くの方々にまちづくりについて情報を発信することができた。

2 収支決算

(1) 収入の部

(単位:円)

項 目	収入済額	備 考
基礎交付金	5,325,000	
繰越金	1,402,268	
負担金	66,700	コンポスト 21,700 円 花火 13,000 円 子育て 29,000 円 ITちびっこ 3,000 円
その他	76,527	預金利息 1,527 円、広告 75,000 円
合 計	6,870,495	

(2) 支出の部 (事業の収支)

分野	事業名	実施年数	収入済額	支出済額	差	備 考
防	地域の子ども見守り事業	13年目	118,000	63,580	54,420	
防	防災訓練事業	15年目	99,020	16,246	82,774	
防	防災学習事業	12年目	150,000	118,889	31,111	
防	備蓄品購入事業	6年目	66,000	65,782	218	
福	げんきづくりふれあい事業	16年目	190,000	93,226	96,774	
福	認知症サポーター養成講座事業	4年目	49,000	28,933	20,067	
福	地域とお年寄りの交流事業	3年目	169,000	114,888	54,112	
福	子育て応援事業	1年目	29,000	29,000	0	
環	生ごみ減量ダンボールコンポスト普及事業	17年目	217,700	122,708	94,992	
環	動物愛護環境活動事業	12年目	700,000	645,785	54,215	
再	大淀河畔たまゆらまつり事業	15年目	888,000	883,288	4,712	
再	栄町児童公園ふれあいまつり事業	15年目	400,000	150,880	249,120	
再	朝活プラス事業	4年目	268,000	141,631	126,369	
再	地域の魅力発信事業	4年目	299,500	131,935	167,565	
再	地域空撮事業	2年目	250,000	330,550	△80,550	
再	地域の笑顔創出事業	2年目	172,712	84,436	88,276	
再	地域交流「結び・笑(え)」事業	16年目	210,000	170,000	40,000	
教	ITちびっこづくりモデル事業	3年目	172,400	32,776	139,624	
教	正しいかけっこ事業	3年目	256,700	74,294	182,406	
他	事務局管理運営事業	13年目	2,165,463	2,146,514	18,949	
繰越金			0	1,425,154	1,425,154	
合 計			6,870,495	6,870,495	0	

3 実施報告

[1] 防犯・防災に係る事業

事業名	地域の子ども見守り事業	実施年数	13年目												
事業期間	開始：平成24（2012）年度	終了：	年度												
地域魅力発信プランとの関連	声かけ運動や見守り活動を実践しましょう。 防災・防犯への意識向上を図りましょう。														
目的 (期待される効果)	中央東地域に住む児童が安心して通学できるように、地域と学校、PTAが連携して見守り活動を行い、安心な地域づくりを推進する。 また、声掛け事案、不審者情報などにも配慮し子ども達の安全を見守る。														
事業内容・手段	<p>民生児童委員・福祉協力員・自治会会員が見守り隊として、宮崎小学校、江平小学校並びに各PTAと連携し、児童の下校時の見守り活動をその他の小学校児童も含め実施した。学校行事や新型コロナ対策による下校時間の変更等についても学校と情報を共有して連携を図り、見守り活動を行った。</p> <p><実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・見守り活動 新1年生の安全確保のため、4月は入学式翌日から1週間見守り活動を実施。 宮崎小学校区 原則、第一水曜日(下校時)に見守り活動。 江平小学校区 原則、第二水曜日(登校時)と第四水曜日(下校時)に見守り活動。 ・意見交換会 6/21(金) 宮崎小学校区 50名(学校教職員30名、見守り隊15名他) 3/4(火) 江平小学校区 22名(学校職員5名、見守り隊12名他) ・対面式(感謝集会) 5/27(月) 江平小学校区 875名(全校生徒800名、見守り隊25名他) 6/21(金) 宮崎小学校区 479名(全校生徒423名、見守り隊15名他) 														
事業費	63,580円														
対象者	中央東地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宮崎小学校校区見守り隊</td> <td>45名</td> <td>45名</td> </tr> <tr> <td>江平小学校校区見守り隊</td> <td>75名</td> <td>75名</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>120名</td> <td>120名</td> </tr> </tbody> </table>			年 度	令和6年度	令和5年度	宮崎小学校校区見守り隊	45名	45名	江平小学校校区見守り隊	75名	75名	合 計	120名	120名
年 度	令和6年度	令和5年度													
宮崎小学校校区見守り隊	45名	45名													
江平小学校校区見守り隊	75名	75名													
合 計	120名	120名													
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・見守り隊の皆様のおかげで子ども達は、安全に登下校出来ています。 ・危険と思われる場所にも対応して頂き、助かりました。 ・急な下校時間変更にも対処して頂き、ありがとうございます。 														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A		広報	⑤事業の周知	A	A	学校職員・保護者への周知は、出来ている。
	②住民の参加	A	A			事業の効果	⑥課題解決への作用	A	
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A				⑦住民の満足度	A	A
	④各種団体との連携	A	A	両小学校で見守り隊との対面式や情報交換会も行われている。	事業継続の必要性				○・無
良かった点・改善点等	<p><良かった点や改善した点等> 不審者情報の見守り隊への伝達は、学校から見守り隊長へ連絡が出来る。危険個所の対応も部会から各隊員へ依頼して改善出来た。</p>								
地域協議会からの意見への対応	<p><地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応></p>						対応	未・済	
	<p><地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応></p>						対応	未・済	

※「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会が出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

)

[1] 防犯・防災に係る事業

事業名	防災訓練事業	実施年数	15年目
事業期間	開始：平成22(2010)年度	終了：	年度
地域魅力発信プランとの関連	声かけ運動や見守り活動を実践しましょう。 防災・防犯への意識向上を図りましょう。		
目的 (期待される効果)	地域住民の防災意識の高揚を図り、住民の絆づくりを推進する。実践的な防災訓練を繰り返し実施することにより、災害時の適応力を育む。又高層マンション等の防災危機感を学ぶ。		
事業内容・手段	<p>1 防災セミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時 8月4日(日)10時～12時 ・場所 エースランド会議室(高千穂通1丁目) ・内容 「もしも、災害に遭ったらどうやって命も守る？」をタイトルに風水害及び地震の場合の避難の仕方、マンション防災についての講話 ・講師 黒木 順子氏(防災コンサルタント) ・参加者 21名 <p>2 堀川町自治会防災訓練「防災さんぽ」・・・雨天のため中止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時 10/27(日)10時～12時 ・場所 後田川緑道公園入口(堀川町)～宮崎市中央公民館 ・内容 地域住民が地震を想定し、自宅から集合場所の・・・に参集後、全員で安全なルートと所要時間を確認しながら指定避難所に避難するための訓練。 		
事業費	16,246円		
対象者	中央東地域住民		
参加者数 (内訳)	<p>1 防災セミナー(参加人数 合計22名)</p> <p>2 堀川町自治会防災訓練「防災さんぽ」(中止のため参加者なし)</p>		
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・今回のセミナーに参加して、災害の備えの大切さが良くわかった。 ・実際に起きた災害にあわせて話をしていただいたので、良く理解できた。 ・もう少し多くの方に参加してほしかった。今日の話聞いて、あらためて我が家の事を考えました。 ・防災セミナーが数多く開催されることを望みます。 ・やっぱり津波は逃げるのが一番だと思いました。常にハザードマップの活用も考えておきたいです。 ・「防災をしなければならない」という気持ちではなく、日常で「今日1本備蓄用の飲み物を増やしたよ」という感じで少しずつ「無理をしないで」、防災に取り組んで行きたいと思いました。 ・猛暑が災害級(地球沸騰化)の話は印象に残りました。南海トラフ地震30年以内70～80%は怖いです。準備を再度、確認します。 ・地震についてのセミナーを終えてすぐに宮崎での大きな地震体験したので、地震の怖さや日頃の準備・心構えを改めて痛感しました。 		

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	① 地域ニーズの把握	A	A	自治会の方々だけでなく地域住民への関心への工夫を再度検討する。	広報	⑤ 事業の周知	B	A	自治会会員のみでの参加でなく地域住民への周知を工夫する。
	② 住民の参加	A	A				事業の効果	⑥ 課題解決への作用	B
効果的・効率的な取り組み	③ 地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A		事業の効果	⑦ 住民の満足度			B
	④ 各種団体との連携	A	A				事業継続の必要性		ⓐ・無
良かった点・改善点等		<p><良かった点や改善した点等> 地域住民へ「命を守る」をテーマにしたセミナーは、住民の意識が変わって来た。今後も必要なセミナーを取り入れて各地域に周知していく。体験型も工夫して多くの地域住民が防災訓練の大切さを再認識出来るようにする。</p>							
地域協議会からの意見への対応		<p><地域協議会からの意見（令和7年3月）> 地震、台風・豪雨など昨今自然災害の発生状況から、防災等に関する地域住民の意識が高まっており、重要な事業だと考えます。しかしながら、令和6年度の取り組み内容及び事業費は少ないのではないかと思います。令和7年度以降は、これまでの事業にとどまらず、地域住民のニーズにこたえた様々な取組ができるよう検討をお願いします。</p> <p><意見への対応></p>					対応		ⓑ・済

※「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『ⓑ』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『ⓑ』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[1] 防犯・防災に係る事業

事業名	防災学習事業	実施年数	12年目
事業期間	開始：平成25(2013)年度	終了：	年度
地域魅力発信プランとの関連	防災・防犯への意識向上を図りましょう。		
目的 (期待される効果)	児童や地域住民を対象にした防災学習・勉強会を開催し、防災に対する知識を楽しく学び、家庭や地域の防災へ関心を高めることを目指す。		
事業内容・手段	<p>1 宮崎小学校4年生防災学習 第1回：10.28(月) 内容：防災セミナー(各教室オンライン授業)／参加児童数82名／部会員2名 風水害・台風の避難行動とタイムラインづくり 講師：市危機管理課 地域防災コーディネーター</p> <p>第2回：10.30(水) 内容：避難所体験学習(体育館)／参加児童数82名／部会員3名 防災テント・段ボールベットの組立て及び居住体験 講師：市危機管理課 地域防災コーディネーター</p> <p>2 江平小学校4年生防災学習 第1回：10.25(金) 内容：防災セミナー(各教室オンライン授業)／参加児童数160名／部会員3名 地震基礎知識と安全マップ作りの留意事項 講師：市危機管理課 地域防災コーディネーター</p> <p>第2回：11.8(金) 内容：地域探検(通学路8コース・32班)と情報収集／参加児童数160名 講師：学校教諭、こども見守りボランティア(子ども見守り隊7名／民生委員8名／児童保護者15名)</p> <p>第3回：11.14(木) 内容：DIG訓練(安全マップ作り)／参加児童数160名／部会員3名 講師：各クラス担任教諭・市危機管理課地域防災コーディネーター(助言)</p>		
事業費	118,889円		
対象者	宮崎小・江平小の小学4年生 中央東地域住民		
参加者数 (内訳)	<p>1 宮崎小児童 延べ164人</p> <p>2 江平小児童 延べ480人</p>		
住民の声(アンケートの結果等)	<p>(危機管理課より)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タイムラインの完成データーを貰いましたが、良く考えてとても良く出来ています。しっかり学んでもらえて嬉しく思います。 <p>(先生方より)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども達からのお礼の手紙に合わせて、質問を書いた一人一人にきちんと回答して頂き、子ども達は、とても喜んでいました。 		

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A		広報	⑤事業の周知	A	A	
	②住民の参加	A	A		事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	防災学習授業として定着している。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	学校・危機管理課・部会との打ち合わせがスムーズに出来た。		⑦住民の満足度	A	A	
	④各種団体との連携	A	A		事業継続の必要性				有 ・ 無
良かった点・改善点等		<p><良かった点や改善した点等> 先生方との打ち合わせの中で、学校からの要望(タブレットの使い方等)が十分に反映され、コミュニケーションもしっかり取れた。オンライン授業も定着して来た。</p>							
地域協議会からの意見への対応		<p><地域協議会からの意見(令和 年 月・)></p> <p><意見への対応></p>					対応	未・済	
		<p><地域協議会からの意見(令和 年 月・)></p> <p><意見への対応></p>					対応	未・済	

※「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[1] 防犯・防災に係る事業

事業名	備蓄品購入事業	実施年数	6年目
事業期間	開始：平成31(2019)年度	終了：	年度
地域魅力発信プランとの関連	防災・防犯への意識向上を図りましょう。		
目的 (期待される効果)	災害時の避難所となっている学校や交流センターが避難所として開設された時に、すぐに利用できる防災用品を揃えて置く。		
事業内容・手段	<p>避難所の宮崎小学校、江平小学校、宮崎東中学校、交流センターに地域として備えるべき防災用品を計画的に整備する。また、部会員が中心に定期的な防災用品の点検等を行う。</p> <p>購入備蓄品 (1) 保存食(5年常温保存) 塩おにぎり2個入り(150袋)</p> <p>配備先：宮崎小学校倉庫に配備した。</p>		
事業費	65,782円		
対象者	中央東地域住民		
参加者数 (内訳)	—		
住民の声(アンケートの結果等)			

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目	評価		特記事項	評価項目	評価		特記事項
	本年度	前年度			本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	広報	⑤事業の周知	A	A
	②住民の参加	A	A	事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A		⑦住民の満足度	A	A
	④各種団体との連携	A	A				
良かった点・改善点等	<p><良かった点や改善した点等> 地域住民が台風等に備えて避難する可能性の高い「宮崎小学校」等に避難された人へ配布するための保存食「塩おにぎり」の補強配備できた。</p>						
地域協議会からの意見への対応	<p><地域協議会からの意見（令和3年8月 事業計画）> 今回計画された備品は、災害時に効果が発揮されるものと考えますが、備品は年数が経過していくと陳腐化等により、その機能を十分に発揮できなくなる恐れがあります。備蓄品の整備については、災害時にライフラインが止まった場合に最も必要となる水や非常食、生活用品を含めて、引き続き、購入する優先順位を検討し、市の備蓄状況も踏まえた計画的な整備をお願いします。 <意見への対応> まちづくり推進委員会の備蓄品整理はできましたが、市の備蓄状況を踏まえた今後の備蓄品購入についての整理ができていない状況です。</p>				対応	⓪・済	
	<p><地域協議会からの意見（令和 年 月 ）> <意見への対応></p>				対応	未・済	

※「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[2] 地域福祉に係る事業

事業名	げんきづくりふれあい事業	実施年数	16年目
事業期間	開始：平成21（2009）年度	終了： 年度	
地域魅力発信 プランとの関連	声かけ運動や見守り活動を実践しましょう 地域の活性化や若者のまちづくりへの参加を促しましょう		
目的 (期待される効果)	高齢者や障害者の皆さんを中心に体力や年齢に関係なく誰でも気軽に楽しめるレクリエーションや健康・安全に関する講座等を開催し、げんきづくり・生きがいづくりに資する。		
事業内容・手段	<p>民生委員・児童委員や福祉協力員、自治会、老人会等と連携し各地域の対象者の参加を促す。また、地区社協・包括支援センターと更に連携を図って参加しやすい交流の場を紹介・案内してもらう。</p> <p>新型コロナの影響によって体力の低下、認知症の進行などが考えられるため、感染予防対策をしながら人数制限をするなどして、身体的にも精神的にも負担の少ない事業を検討する。</p> <p>また、高齢者の健康の維持及び増進を図り、参加者同士のふれあいの場を提供するため、健幸体操に取り組むこととする。</p> <p><健幸体操></p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮崎東地区交流センター：毎月第2火曜日に開催（4月、8月は未実施） <p><ロコモ予防講座></p> <ol style="list-style-type: none"> ① 会場：宮崎駅前地区自治公民館 <ul style="list-style-type: none"> ・2月2日（日）10：00～12：00 17参加申込 ② 会場：宮崎東地区交流センター <ul style="list-style-type: none"> ・2月9日（日）10：00～12：00 11名参加申込 		
事業費	93,226円		
対象者	中央東地域自治区住民		
参加者数 (内訳)	<p><健幸体操></p> <p>参加者数：5/14（38名）6/11（35名）7/9（25名）9/10（32名）10/8（36名）11/12（38名）12/10（28名）1/14（31名）3/11（不明）</p> <p><ロコモ予防講座> ① 17名参加 ② 10名参加</p>		
住民の声（アンケートの結果等）	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢層に沿った体操のため、気楽に楽しく運動が出来る。 ・地域の知り合いの参加者ばかりで和やかな雰囲気に参加できる。 ・健康寿命にもつながるので、これからも続けていきたい。 		

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A		広報	⑤事業の周知	A	A	
	②住民の参加	A	A			事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A				⑦住民の満足度	A	A
	④各種団体との連携	A	A		事業継続の必要性				④・無
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（ 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>							未・済	
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（ 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>							未・済	

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[2] 地域福祉に係る事業

事業名	認知症サポーター養成講座事業	実施年数	4年目																		
事業期間	開始：令和3（2021）年度	終了：	年度																		
地域魅力発信プランとの関連	声かけ運動や見守り活動を実践しましょう																				
目的 (期待される効果)	認知症発症者の基本的な知識と対応方法を習得する。																				
事業内容・手段	<p>中央東地域内の住民に対して、自治会や民生委員・児童委員経由で受講者を募集し、認知症サポーター養成講座を実施する。</p> <p>出来るだけ、若い世代の方にも周知して認知症の理解を広げる。そのためにも講座の開催日は、平日のみでなく土日も検討していく。</p> <p>① 会場：宮崎駅前地区自治公民館 日時：11月17日（日）10：00～11：30</p> <p>② 会場：宮崎東地区交流センター 日時：11月24日（日）10：00～11：30</p>																				
事業費	28,933円																				
対象者	中央東地域住民																				
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th colspan="2">令和6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日 付</td> <td>11月17日</td> <td>11月24日</td> </tr> <tr> <td>場 所</td> <td>宮崎駅前地区 自治公民館</td> <td>宮崎東地区交流 センター</td> </tr> <tr> <td>参 加 者</td> <td>11名</td> <td>11名</td> </tr> <tr> <td>ス タ ッ フ</td> <td>3名</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>14名</td> <td>14名</td> </tr> </tbody> </table>			年 度	令和6年度		日 付	11月17日	11月24日	場 所	宮崎駅前地区 自治公民館	宮崎東地区交流 センター	参 加 者	11名	11名	ス タ ッ フ	3名	3名	合 計	14名	14名
年 度	令和6年度																				
日 付	11月17日	11月24日																			
場 所	宮崎駅前地区 自治公民館	宮崎東地区交流 センター																			
参 加 者	11名	11名																			
ス タ ッ フ	3名	3名																			
合 計	14名	14名																			
住民の声（アンケートの結果等）	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の参加が多かったが、講師が気を利かして（状況判断して）、ゆっくりとした話し方で良かった。声も通りやすくとても分かりやすかったと好評だった。 ・講師の方が自分の家族の事例も含めて話されたので、近親感が伝わり良かった。 ・次年度も開催してほしいとの要望の声もあった。来年度も是非参加したい。 ・「認知症」という言葉はよく耳にするけど、詳しくは知らないのこのような講座があるのを知って良かったです。 ・認知症サポーターの事がわかりとても良かったです。 ・特別ではない、行く道として寄り添いたい、有難いお話しであった。 ・認知症の方への対応の仕方が解った。認知症について学ぶ事が出来た。 ・直接毎日お世話されている施設の方の生の声、実話等聞けて大変な仕事ということもわかり勉強になった。 																				

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A		広報	⑤事業の周知	A	A	
	②住民の参加	A	A			事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A				⑦住民の満足度	A	A
	④各種団体との連携	A	A		事業継続の必要性				⓪・無
良かった点・改善点等	<p><良かった点や改善した点等> 世帯配布により宮崎小校区、江平小校区に分けることで、受講者を確保する事ができた。今後の改善点として、開催の時期、時間帯（夜間や土日）や会場を工夫し、若い世代の方も参加しやすいように改善する。</p>								
地域協議会からの意見への対応	<p><地域協議会からの意見（ 年 月・ ）></p> <p><意見への対応></p>						対応	未・済	
	<p><地域協議会からの意見（ 年 月・ ）></p> <p><意見への対応></p>						対応	未・済	

※「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[2] 地域福祉に係る事業

事業名	地域とお年寄りの交流事業	実施年数	3年目
事業期間	開始：令和4（2022）年度	終了：	年度
地域魅力発信プランとの関連	声かけ運動や見守り活動を実践しましょう		
目的 (期待される効果)	孤立傾向にある高齢者に対して、小学生から長寿を祝う作品（絵・メッセージカードなど）を渡すことで、高齢者の地域との接点づくりのきっかけとするとともに、地域内の交流を促進する。		
事業内容・手段	<p>各自治会長・各民生委員（中央東地区・橘地区）を通じて孤立傾向にある高齢者を把握する。小学生に高齢者に向けての作品（絵・メッセージカード等）を作成してもらい、各自治会長や各民生委員を通じて孤立傾向にある高齢者にイベントや世帯訪問時に作品を手渡してもらい、交流のきっかけづくりとする。</p> <p>令和6年6月 各自治会長・各民生委員（中央東地区・橘地区）に対し、孤立傾向にある高齢者の人数把握するためアンケート調査を実施。</p> <p>令和6年7月 各宮崎小及び江平小へメッセージカード用紙を配付した。</p> <p>令和6年8～9月 各小学校にメッセージカードの回収。</p> <p>令和6年9月中旬（敬老に日前後）各自治会のイベントや世帯訪問時にメッセージカードを高齢者の皆さんへ手渡していただいた。</p>		
事業費	114,888円		
対象者	中央東地域自治区住民（高齢者）		
参加者数 (内訳)	<ul style="list-style-type: none"> ・江平小校区及び宮崎小校区の小学2年生185人が参加した。 ・地域の80歳以上の敬老会へ303枚を配布した。 		
住民の声（アンケートの結果等）	<ul style="list-style-type: none"> ・メッセージカードを受取った高齢者からは、絵がきれいに描かれていた。 ・心に残る温かいメッセージに感動し嬉しかった。 ・文字が丁寧でしっかりした文章に驚き、とても有難くて嬉しかった。 		

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A		広報	⑤事業の周知	A	A	
	②住民の参加	A	A			事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A				⑦住民の満足度	A	A
	④各種団体との連携	B	C	地域の自治会や地区民児協との連携及び意思疎通が昨年度より改善できた。	事業継続の必要性				○・無
良かった点・改善点等	<p><良かった点や改善した点等> 各自治会長や各民生委員に対し、実施したアンケート調査を基に部会協議で対象年齢を決定し、1人暮らしの高齢者の人数を把握することができた。宮崎小学校・江平小学校と協議を行い、対象学年・参加賞の品も決定し来年度の準備ができた</p>								
地域協議会からの意見への対応	<p><地域協議会からの意見（ 年 月・ ）></p> <p><意見への対応></p>						対応	未・済	
	<p><地域協議会からの意見（ 年 月・ ）></p> <p><意見への対応></p>						対応	未・済	

※「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[2] 地域福祉に係る事業

事業名	子育て応援事業	実施年数	1年目
事業期間	開始：令和6(2024)年度	終了：	年度
地域魅力発信プランとの関連	地域で子供の成長を喜び、子育て世代の子育てを応援しましょう。		
目的 (期待される効果)	初めて子育てする若い世代と赤ちゃんを地域が事業で応援することにより孤立を防止するとともに、未就園児や若い子育て世代の親、祖父母との多世代交流を図る。		
事業内容・手段	<p>内 容：赤ちゃんハイハイ競争及び健康チェックブース、撮影ブース、子ども食堂ブースの設置</p> <p>日 時：12月21日(土)9時30分～12時30分</p> <p>場 所：宮崎市男女共同参画センター(パレット)</p> <p>参 加 者：赤ちゃん58人及び保護者の家族等</p> <p>スタッフ：地域づくり部会員4名、市民活動団体等支援団体、学生ボランティア(高校生及び子ども医療専門学校生、宮崎市制100周年記念キャラクターみやねこ)</p> <p>イベント申込方法：Google フォーム</p> <p>駐車場：パレット、宮崎県国民健康保険団体連合会及び宮崎太陽銀行</p>		
事業費	29,000円		
対象者	中央東地域住民		
参加者数 (内訳)	300人(赤ちゃんを含む来場者250人・スタッフ50人)		
住民の声(アンケートの結果等)	<p>アンケート実施(保護者58人のうち、42人回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントに満足した(29人) ・イベントで良かったものは、ハイハイ競争(40人) <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「みやねこ」を見て赤ちゃんが一步も前に進まなかった。良い思い出になりましたとの意見。 ・学生ボランティアの笑顔や対応がとても素敵でした。寒い中、朝早くから有難いと思いましたとの意見 ・ハイハイ競争の参加賞や協賛のプレゼントが豪華で良かったとの意見(多数) ・参加賞が仕掛け絵本だったので嬉しかったとの意見(多数) ・臨時駐車場がわかりづらく、困ったとの意見。 ・ハイハイ競争の順位を確認が曖昧なところがあったので、工夫がほしい。 ・ハイハイ競争のタイムリミットを決めても良いと思うとの意見。 ・ハイハイ競争の申込み者との連絡手段は、メールではなく、公式LINEで配信ができるとより良くなると思う。メールは見落とししたり、見ずに削除したりしてしまう方も多いと思うとの意見。 		

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	—	・乳児を育てる若い世代の方へ向けての必要な支援の掘り起こしのきっかけづくりができた	広報	⑤事業の周知	A	—	・若い世代へ向け周知の方法を工夫し、既存の方法を含め短期間で広報できた
	②住民の参加	A	—	・乳児を育てる子育て世代の方、祖父母を含め多数の参加があった		事業の効果	⑥課題解決への作用	A	—
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	—	・初めての子育て世代向けの事業がないため、子育て世代の声を聴くために必要である	事業の必要性		⑦住民の満足度	A	—
	④各種団体との連携	A	—	・趣旨に賛同する個人、学生、各団体、企業の方と連携し、応援する体制が取れた		事業継続の必要性	④	・ 無	
良かった点・改善点等	ハイハイ競争レース運営が、司会者、高校生及び専門学校生のボランティア活動によりスムーズに運べた。キャラクター「みやねこ」参加のサプライズがあり、会場を一気に和ませ、盛り上げた。若い子育て世代が地域のつながりを感じ、次に繋がっていけるよう継続し、その中で子育て世代の困りごとややってみたいことの声拾い上げ、子育て世代の課題解決に取り組んでいきたい。								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年4月・事業計画）>							対応	未・済
	<意見への対応>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>							対応	未・済
	<意見への対応>								

※「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会でおされた意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[3] 環境に係る事業

事業名	生ごみ減量ダンボールコンポスト普及事業	実施年数	17年目																			
事業期間	開始：平成20（2008）年度	終了：	年度																			
地域魅力発信プランとの関連	花いっぱい運動や動物愛護運動を展開しましょう																					
目的 (期待される効果)	生ごみを減量化することで、ごみ処理の削減や地球温暖化防止につなげる。生ごみを簡単に堆肥化できるダンボールコンポストの普及をさせることで、住民の意識の向上を図る。																					
事業内容・手段	<p>SDGs の意識拡大により受講希望者が増えているので、対象者別に2回の講座を開催し、ダンボールコンポストの積極的な普及に努める。具体的には夏季前にリピーター向けの実践的講座を開催、冬季前に初心者向けの講座及フォローアップ講座をセットで開催、フォロー講座では約2ヶ月実践して出た課題等へのアドバイスや振り返り、コンポストの活用法として寄せ植え講座を実施した。</p> <p><リピーター向け講座> 日時：実践的講座 5月11日（土）10：00～12：00</p> <p><初心者向け講座> 日時：基礎講座 10月12日（土）10：00～12：00 フォローアップ 及び寄せ植え講座 12月 7日（土）14：00～16：00</p> <p>*両講習会共通 場所：宮崎東地区交流センター「学習室」 講師：宮崎ダンボールコンポストネットワーク県央支部長 宮崎市花のまちづくり推進員（寄せ植え講座）</p> <p><ダンボールコンポスト応用編（畑づくり）> ・コンポストのできた堆肥の土を使った野菜作りを講習会OBと10月まで実施した。</p>																					
事業費	122,708円																					
対象者	中央東地域住民																					
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>内 訳</th> <th colspan="3">令和6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施日</td> <td>5/11</td> <td>10/12、12/7</td> <td>通年(畑)</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>13名</td> <td>11名</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">/</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>4名</td> <td>5名</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>17名</td> <td>16名</td> <td>8名</td> </tr> </tbody> </table>			内 訳	令和6年度			実施日	5/11	10/12、12/7	通年(畑)	参加者	13名	11名	/	スタッフ	4名	5名	合計	17名	16名	8名
内 訳	令和6年度																					
実施日	5/11	10/12、12/7	通年(畑)																			
参加者	13名	11名	/																			
スタッフ	4名	5名																				
合計	17名	16名		8名																		
住民の声(アンケートの結果等)	<p>※アンケート実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみの量を減らしたいと思い、参加しました。具体的なゴミの投入の仕方など良く分かりました。経験者の話を聞いたことが良かったです。 ・ダンボールコンポストの分からない所も先生に丁寧に教えていただき知識が深まり勉強になりました。 ・虫対策や温度を上げる方法など細かいところまで学べた。 																					

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度				本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	B	B	秋の講習会は残念ながら参加者が少なかったが、熱心な受講者が多く、環境問題への関心の高さが確認できた。	広報	⑤事業の周知	B	A	事前の会場の確保と全戸配布の原稿の締め切り日の兼ね合いから、チラシの配布期間から申込み期限まで日数が短く、参加者が少なかった。周知方法；要検討	
	②住民の参加	B	B			事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A				⑦住民の満足度	A	A	身近なエコロジー活動として関心の高い方が参加し、熱心なリピーターも増えた。
	④各種団体との連携	A	A		事業継続の必要性				Ⓞ・無	
良かった点・改善点等		<p><良かった点や改善した点等> 生ごみ減量ダンボールコンポストを出来るだけ多くの方々に普及させるため、前年度より対象者と時期を分けて2回開催し、募集方法（リピーター向けはダイレクトメール）や講座内容（リピーター向けは今年度はフォローアップ講座無し）も対象者に合わせ工夫して実施した。</p>								
地域協議会からの意見への対応		<p><地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応></p>				対応	未・済			
		<p><地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応></p>				対応	未・済			

※「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。（環境部会 実施報告）

[3] 環境に係る事業

事業名	動物愛護環境活動事業	実施年数	12年目						
事業期間	開始：平成25（2013）年度	終了：	年度						
地域魅力発信プランとの関連	花いっぱい運動や動物愛護運動を展開しましょう								
目的 (期待される効果)	人間の都合で捨てられた猫などが殺処分されないよう、地域猫活動を支援することで動物愛護への関心を高める。								
事業内容・手段	<p>自治会や地域の協力員等と連携しながら地域猫活動を支援する。具体的には、地域に生息する飼い主のいない猫の避妊・去勢手術やえさやり、えさの片付け、糞の始末などの管理を行う地域猫活動協力員の活動を支援する。</p> <p>令和4年度に「宮崎市動物との共生に関する条例」が制定されたことから、動物愛護促進活動の一助として、愛護センター等の職員を招いて講演会を実施した。また、地域猫活動協力員との情報交換会を随時行い、情報の共有や支援の拡充に努めた。</p>								
事業費	645,785円								
対象者	中央東地域住民・地域猫協力員								
参加者数 (内訳)	<p><避妊・去勢数></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>合計</td> <td>42匹</td> <td>58匹</td> </tr> </tbody> </table> <p>※地域猫活動員 環境部会員3/7人（活動員2名・餌やり掃除のみ1人） 協力員13人（R6.12.1現在）</p> <p>※情報交換会</p> <ul style="list-style-type: none"> 江平地区：R6.6.7(金)19:00～ 宮崎市男女共同参画センター パレット 6名 広島通り・四季通り：R6.7.19(金)13:00～ 宮崎駅前地区自治公民館 5名 <p>※動物と共生するまちづくり講演会</p> <ul style="list-style-type: none"> 宮崎市保健所「研修室B」：R6.10.26(土)10:00～12:15 参加者38名 講師2名 部会員他5名 合計47名 			年度	令和6年度	令和5年度	合計	42匹	58匹
年度	令和6年度	令和5年度							
合計	42匹	58匹							
住民の声(アンケートの結果等)	*アンケートは、特になし。								

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	地域住民から事務局や協力員への捕獲・手術の要請が増大した	広報	⑤事業の周知	B	B	広報の締切日の関係で講演会のチラシの配布と申込締切日迄の期間が短く、周知が不十分だった。
	②住民の参加	A	A	協力員さんが増えてきて、地域猫活動も少しずつ根付いてきた。			事業の効果	⑥課題解決への作用	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	協力員さんとの情報交換会を随時実施し、活動の支援・推進に努めている。	事業の必要性	⑦住民の満足度			B
	④各種団体との連携	A	A	みやざき動物愛護センターやTNR活動団体の協力を得て講習会を実施した。					
良かった点・改善点等	<p><良かった点や改善した点等> ここ数年開催を検討していた動物愛護促進活動普及の一助となる講習会を実施することができた。 また、以前から多数の野良猫の息が見られる権現自治会地域の地域猫活動について、一度に多数の手術が行える愛護センターへの自治会単位の登録を自治会長さんと協力員さんの協力を得て実施してもらい、地域猫活動の推進に努めた。</p>								
地域協議会からの意見への対応	<p><地域協議会からの意見（令和7年 3月）> TNR活動は継続性が重要であると考えます。そのため、本事業のみでなく、自治会やNPO団体、みやざき動物愛護センター等における取組と連携・協力し、効果的及び効率的に実施するようにお願いします。</p> <p><意見への対応></p>						対応	⓪・済	
	<p><地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応></p>						対応	未・済	

※「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。

その際、「対応」の欄が『⓪』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[4] 地域再生に係る事業

事業名	大淀河畔たまゆらまつり事業	実施年数	15年目
事業期間	開始：平成22（2010）年度	終了：	年度
地域魅力発信プランとの関連	地域の活性化や若者のまちづくりへの参加を促しましょう 暮らしやすい地域づくりに取り組みましょう		
目的 (期待される効果)	ホテルや店舗、病院、事務所などと協力し、世代間交流や地域の伝統文化の伝承等を目的として「まつり」を開催することで「たまゆら温泉」「商店街」を盛り上げる。 地域の企業や個人からの協賛及び参加者を募り「まつり」の内容を充実させ、まちづくりに参加する意識を醸成する。		
事業内容・手段	地域の青年団や自治会などで実行委員会を立ち上げて協賛金を集め、事業資金を充実させる。抽選会などで子どもを含む地域住民に参加を促す。景品の費用は、協賛金で賄い（地域コミュニティ活動交付金とは別会計）、まつりスタッフは、高校生や地域のボランティアが活躍し、多くの地域住民が交流できる場とする。		
事業費	883,288円		
対象者	中央東地域住民		
参加者数 (内訳)	来場者：2,000人 スタッフ：70人		
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・豪華景品が当たる抽選会が毎年、楽しみだ。 ・雨が降る中、高校生ボランティアがお手伝いをしていた。活動に感謝したい。 ・中央東地域をはじめ、県外者からもイベント開催日時やチケット購入場所等について電話問い合わせが毎年、事務局に来ている。イベントの知名度が着実に上がっていると感じる。 		

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A		広報	⑤事業の周知	A	A	
	②住民の参加	A	A			事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A				⑦住民の満足度	A	A
	④各種団体との連携	A	A		事業継続の必要性				有・無
良かった点・改善点等	<p><良かった点や改善した点等> 雨天でのイベント開催にもかかわらず、県内外から多くの来場者があった。毎年、スタッフの人数不足に悩んでいたが、高校生ボランティア等参加によりスムーズな運営と地域交流も図ることができた。</p>								
地域協議会からの意見への対応	<p><地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）></p> <p><意見への対応></p>						対応	未・済	
	<p><地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）></p> <p><意見への対応></p>						対応	未・済	

※「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

(地域づくり部会 実施報告)

[4] 地域再生に係る事業

事業名	栄町児童公園ふれあいまつり事業	実施年数	15年目
事業期間	開始：平成22(2010)年度	終了：	年度
地域魅力発信プランとの関連	地域の活性化や若者のまちづくりへの参加を促しましょう		
目的 (期待される効果)	栄町街区公園は地域住民の交流拠点であることから自治会をはじめ、学校・保育園・幼稚園、児童館、子ども会と連携し、三世代交流を図り地域の活性化に努める。		
事業内容・手段	<p>地域内の各団体（自治会・民生児童委員・子ども会・PTA等）が連携して実行委員会を立上げ、児童館でのプラ板作りや壊れたおもちゃの修理を無料で行うおもちゃ病院やティボール、ふれあい動物園や昭和のあそびを同時開催することにより、来場した三世代家族等が物を大切にする愛着心や動物の愛護精神を育むとともに、家族や地域の人との交流の楽しさを体感できる場とする。</p> <p>※今年度は、事業規模を縮小し、ふれあい動物園ブースのみを担当。 おもちゃ病院等のブース開設なし。カレーのふるまいが自治会から提供された。</p>		
事業費	150,880円		
対象者	各小学校、中央東地域住民		
参加者数 (内訳)	令和6年度 : 来場者350名/スタッフ50名(計400名) 令和5年度 : 来場者350名/スタッフ50名(計400名) 令和4年度 : 雨天中止 令和3年度 : 来場者263名/スタッフ47名(計310名) 平成30年度 : 来場者331名/スタッフ56名(計387名)		
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none">・子ブタやヤギにえさやりができて楽しかった。・ラマやポニーなど、たくさんの動物といっぺんに触れ合えてうれしかった。・来年もぜひ参加したい。・親子や三世代で楽しめる良い企画だ。毎年、開催してほしい。		

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A		広報	⑤事業の周知	A	A	
	②住民の参加	A	A			事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A				⑦住民の満足度	A	A
	④各種団体との連携	A	A		事業継続の必要性				⑦・無
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> 地元中学生ボランティア男子5名によるふれあい動物園の受付や動物のえさの準備、排泄物の掃除などの活動で、関係スタッフの作業量が大幅に軽減できた。							
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>				対応		未・済		
	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>				対応		未・済		

※「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[4] 地域再生に関わる事業

事業名	朝活プラス事業	実施年数	4年目
事業期間	開始：令和3（2021）年度	終了： 年度	
地域魅力発信 プランとの関連	暮らしやすい地域づくりに取り組みましょう。 地域の活性化や若者のまちづくりへの参加を促しましょう。		
目的 (期待される効果)	高齢者向けのデジタルバイド（情報格差）解消対策で、生活の利便性を高めることを図る。 健康増進や交流イベントで、高齢者等の社会参加の意欲や生活満足度の向上に繋げる。		
事業内容・手段	<p>スマートフォンの知識や操作とともに、必要な情報収集の方法について学べる高齢者を対象として講座を開催する。健康な日常生活を送るため運動習慣の促進や体力測定を通じて体力維持・増進の重要性を啓発する。</p> <p>〈実施報告〉</p> <p>① 布ぞうり作り講座(令和6年度から開始・連続3回) 日時：令和6年7月5日・12日・19日（毎週金） 場所：宮崎東地区交流センター 講師：お宝部会員（主任児童委員）</p> <p>②シニアのためのスマホ活用術講座（連続3回） 日時：前期 令和6年9月2日・9日・16日（毎週月） 後期 令和6年1月20日・27日・2月3日（毎週月） 場所：サーパス中央公園（前期）・宮崎東地区交流センター（後期） 講師：公民館講座の講師</p> <p>③無料体力測定会（予定した会場が衆議院議員総選挙投票所となり中止した）</p>		
事業費	141,631円		
対象者	中央東地域住民		
参加者数 (内訳)	<p>R6年度①7/5・12・19(毎週金)参加者10名/スタッフ5名/合計15名(延べ45名) ②9/2・9・16(毎週月)参加者17名/スタッフ5名/合計22名(延べ66名) ③1/20・27・2/3(毎週月)参加者17名/スタッフ5名/合計22名(※見込み)</p> <p>③実績なし(中止)</p> <p>R5年度①実績なし ②9月4日・11日・18日(毎週月)参加者17名/スタッフ8名/合計25名 1月15日・22日・29日(毎週月)参加者17名/スタッフ9名/合計26名</p>		
住民の声(アンケートの結果等)	<p>①布ぞうり作り講座 ○子供の頃のわら草履作りの懐かしさを感じるとともに、現在布ぞうりを我が家で使用中ですので、自分で手先を動かし、作ってみたいとの思いで参加しました。 ○作り方を覚えられて良かった。家で作ってみたい。 ○とても楽しかったです。また参加したいです。</p> <p>②シニアのためのスマホ活用術講座 ○スマホ講座の受講を通して集中する時間が持て、有難かった。 ○今回の講座は、非常に役に立った。 ○今後は、ステップアップしたスマホ講座も受講したい</p>		

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A		広報	⑤事業の周知	B	A	班回覧としたため、周知効果が十分ではなかった。
	②住民の参加	A	A				事業の効果	⑥課題解決への作用	
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A		事業の効果	⑦住民の満足度			A
	④各種団体との連携	A	A				事業継続の必要性		④・無
良かった点・改善点等	<p><良かった点や改善した点等> スマホ講座を2会場（宮崎東地区交流センター「学習室」、サーパス中央公園「集会所」）開催とすることにより、中央東地域内の住民が講座を受講し易くなるよう工夫した。</p>								
地域協議会からの意見への対応	<p><地域協議会からの意見（ 年 月・ ）></p> <p><意見への対応></p>						対応	未・済	
	<p><地域協議会からの意見（平成 年 月・ ）></p> <p><意見への対応></p>						対応	未・済	

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[4] 地域再生に関わる事業

事業名	地域の魅力発信事業	実施年数	4年目																						
事業期間	開始：令和3（2021）年度	終了：年度																							
地域魅力発信プランとの関連	自治会未加入対策など地域力の向上を図りましょう。 歴史・伝統・文化を守り継承しましょう。																								
目的 (期待される効果)	地域の魅力を発信し、再発見することで、地域への愛着や関心を高めていく。 地域住民や企業等の連携により、地域文化を守り育てる地域づくり・人づくりの活動による加入促進を図る。																								
事業内容・手段	<p>地域住民や企業と連携を図りながら地域行事（祭り等）の保護・継承活動をアピールするマップの制作。 お宝マップ・古地図を活用し、歩きながら魅力スポットを巡るまち歩きイベントを実施する。</p> <p>① お宝マップ「地域行事編」の情報収集及びマップ制作 ・地域行事の「祭り」マップ（A3サイズ）を8,000部制作し、地域住民への配布を予定していたが、マップの題材を変更する。</p> <p>② まち歩きイベント「歩いて学ぼう！まち歩き講座」 ・令和6年11月23日（土） ・内容：参加者が講師ガイドと一緒に錦町周辺（東雲通りや丸島町）を歩き、昭和初期の古地図を読み解きながら、宮崎市制100周年の歴史や文化に触れた。</p> <p>③ マップ制作に係る事業予算の費用対効果を考慮し、「祭り」マップ制作から、過去4回開催のまち歩きイベントで得られた中央東地域の歴史散策スポットデータを反映</p>																								
事業費	131,935円																								
対象者	中央東地域自治区住民																								
参加者数 (内訳)	<p>まち歩きイベント「歩いて学ぼう！まち歩き講座」</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加者</td> <td>15名</td> <td>17名</td> <td>14名</td> <td>25名</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>8名</td> <td>11名</td> <td>9名</td> <td>9名</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>23名</td> <td>28名</td> <td>23名</td> <td>34名</td> </tr> </tbody> </table>					年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	参加者	15名	17名	14名	25名	スタッフ	8名	11名	9名	9名	合計	23名	28名	23名	34名
年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度																					
参加者	15名	17名	14名	25名																					
スタッフ	8名	11名	9名	9名																					
合計	23名	28名	23名	34名																					
住民の声（アンケートの結果等）	<p>まち歩き講座のアンケート集計結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関心を持っていた事の謎がわかって嬉しかった。楽しい企画でした。 ・引き続き、まち中の歴史について学ぶことが出来れば参加したい。 ・石碑があることを知らずに通っていたので、再発見があり良かった。 ・ブラタモリのように、楽しかった。 ・マイクの音が小さく、後の人は講師の話が聞き取れなかった。 ・まち歩きの途中でトイレの時間が欲しい。 ・講座年間スケジュールがあると参加計画を立てやすいので配付願いたい。 																								

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A		広報	④ 事業の周知	B	A	広報の改善余地あり。
	②住民の参加	A	A				事業の効果	⑥課題解決への作用	
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A			⑦住民の満足度			A
	④各種団体との連携	A	A		事業継続の必要性				有・無
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> まち歩きイベントが「宮崎市制100周年記念イベント」と重なり、高千穂通りやその周辺が歩行者天国となり、道路上では大勢の人で混雑していたが、携行した「中央東まちづくり推進委員会」のぼりがまち歩き講座参加者やスタッフの目印となり、誰一人迷うことなく、スムーズにまち中の歴史再発見の散策ができた。							
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（ 年 月・ ）> <意見への対応>						対応		未・済
	<地域協議会からの意見（ 年 月・ ）> <意見への対応>						対応		未・済

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[4] 地域再生にかかわる事業

事業名	地域空撮事業		2年目
事業期間	開始：令和4年度	終了：	年度
地域魅力発信プランとの関連	地域の活性化や若者のまちづくりへの参加を促しましょう		
目的 (期待される効果)	移り変わる地域の様子を地域の小・中学校の5周年ごとに撮影し、地縁団体で活用することで、児童、生徒をはじめ、地域住民の地域への愛着を育む。		
事業内容・手段	<p>移り変わる地域の様子を学校の5周年ごとにドローンで上空から撮影し、撮影した画像をまちづくり推進委員会はじめ、地域の地縁団体等や各学校のPTAで活用する。</p> <p>業務委託により撮影された画像を、まちづくり推進委員会のSNS（フェイスブック）等で公開するとともに、自治連を初めとした関係団体にも活用を案内し、また、地域の社会資源である学校の周年事業での活用も調整する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・江平小95周年 ・宮崎中70周年 		
事業費	330,550円		
対象者	中央東地域住民		
参加者数 (内訳)	R7.1.4撮影。 成果品（写真、動画）を1月末に宮崎中、江平小に提供し活用してもらう。		
住民の声（アンケートの結果等）	撮影した画像を地域内の団体に共有し、PTAや合同広報誌での地域の魅力発信のために活用する。		

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	B	—		広報	⑤事業の周知	B	—	
	②住民の参加	B	—			事業の効果	⑥課題解決への作用	B	—
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	B	—				⑦住民の満足度	B	—
	④各種団体との連携	B	—	各校のPTAとの連携が必要である。	事業継続の必要性				○有・無
良かった点・改善点等	<p><良かった点や改善した点等> 単独事業として撮影するものではなく、撮影した画像を地域内の団体で共有し、合同広報紙での地域の魅力発信のために活用することや自治連を始め、関連団体の会議資料の表紙・裏面紙での活用、学校の周年事業での活用を案内する。</p>								
地域協議会からの意見への対応	<p><地域協議会からの意見（ 年 月 ）></p> <p><意見への対応></p>						対応	未・済	
	<p><地域協議会からの意見（ 年 月 ）></p> <p><意見への対応></p>						対応	未・済	

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[4] 地域再生にかかわる事業

事業名	地域の笑顔創出事業	実施年数	2年目
事業期間	開始：令和5年度(2023年)	終了：令和7年度	
地域魅力発信プランとの関連	世代間交流で絆を深めるまちづくりを目指しましょう。 地域の宝と地域の力を合わせ、活力あふれるまちづくりを目指しましょう。		
目的 (期待される効果)	地域の宝である子ども達と地域住民の交流を通して、地域の絆を深める。 また、地域まちづくりの活動の大切さや意義を参加者と共有するとともに、参加者が主体的に関われる機会を設けることで、地域まちづくりの活動者を育てていく。		
事業内容・手段	<p>世代間交流イベントとして、「eスポーツイベント」と「手持ち花火イベント」を開催する。</p> <p>【eスポーツイベント】</p> <ul style="list-style-type: none"> eスポーツのゲームの種類等を包括支援センターや宮崎ティーンズ会議などで情報収集したが、事業実施のスケジュールの調整が整わずイベント開催ができなかった。 <p>【手持ち花火イベント】</p> <p>時期：令和6年11月9日(土) 江平小学校 令和5年11月16日(土) 宮崎小学校→大雨のために中止</p> <p>【清掃活動】</p> <p>時期：令和6年11月10日(日) 江平小学校 令和6年11月17日(日) 宮崎小学校→授業参観日の為に中止</p> <p>場所：宮崎小学校グラウンド、江平小学校グラウンド</p>		
事業費	84,436円		
対象者	地域住民(小学生：1～6年生)		
参加者数 (内訳)	<p>【手持ち花火イベント】</p> <p>江平小学校 26名参加(申込者数31名)</p> <p>【清掃活動】</p> <p>江平小学校 12名参加</p>		
住民の声(アンケートの結果等)	子ども達と地域住民の交流を通して、地域の絆を深めることが出来た。 地域内で花火できる場所がないことから参加住民からはかなり好評であった。 地域の子ども同士で一緒になって花火をする機会がないのでとても楽しかった。		

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A		広報	⑤事業の周知	A	A	
	②住民の参加	A	B			事業の効果	⑥課題解決への作用	B	B
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A				⑦住民の満足度	A	A
	④各種団体との連携	B	A	各校のPTAとの連携が必要である。	事業継続の必要性				有・無
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等>							
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（ 年 月 ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（ 年 月 ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[4] 地域再生にかかわる事業

事業名	地域交流「結び・笑(え)」事業	実施年数	16年目
事業期間	開始：平成21(2009)年度	終了：	年度
地域魅力発信プランとの関連	地域の活性化や若者のまちづくりへの参加を促しましょう		
目的 (期待される効果)	地域と学校・子ども会との連携を図り、子供から若い世代や高齢者まで地域交流の場を開催し、三世代交流で地域の活性化に努める。		
事業内容・手段	江平小学校「夢玉フェスタ」を開催することにより、参加した子どもたちから子育て世代、おじいちゃん・おばあちゃんの3世代が「ふれあい動物園」や「昭和のあそび」を楽しむ時間を共有して交流を深めるとともに、中央東地域住民や学校PTA保護者など、多くの人がつながり、地域の活性化を図る。		
事業費	170,000円		
対象者	各小学校校区児童・幼児、中央東地域住民		
参加者数 (内訳)	令和6年度 12/1(日)江平小学校夢玉フェスタ：来場者2,000人(スタッフ200人) 令和5年度 江平小学校夢玉フェスタ：来場者530人(スタッフ30人) 令和4年度 (雨天中止)		
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・動物園や竹馬などの昔遊びなど、親子で楽しむことができた。来年も参加したい。 ・子どもがポニーに乗れて、大変喜んでいて、毎年、動物とのふれあいイベントを開催してほしい。 		

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A		広報	⑤事業の周知	A	A	
	②住民の参加	A	A			事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A				⑦住民の満足度	A	A
	④各種団体との連携	A	A		事業継続の必要性				○・無
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等> ふれあい動物園や昭和のあそびを小学校PTA イベントと共催して行うことで、親子をはじめ、三世代、地域住民同士の交流が促進され、各会場は多くの笑顔であふれていた。								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 月 月・ ）> <意見への対応>						対応	未・済	
	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>						対応	未・済	

※「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[7] 地域教育に係る事業

事業名	ITちびっこづくりモデル事業	実施年数	3年目
事業期間	開始：令和4年度（2022年）	終了：	年度
地域魅力発信プランとの関連	地域の活性化や若者のまちづくりへの参加を促しましょう		
目的 (期待される効果)	小学校にプログラミング教育が取り入れられたことや、宮崎市が取り組むマチナカ3000プロジェクトにより中心市街地にICT企業等の雇用が創出されていることなどから、地域の小学生にプログラミングに触れる機会を提供することで、子どもたちがIT関係に興味を持つきっかけとし、宮崎での就職に繋げていく。		
事業内容・手段	<p>小学生を対象としたプログラミングのセミナーを若草通アーケード内「まちなかキャンパス」で実施。</p> <p>開催時期：令和7年3月2日（日）午前2時間 講師：宮崎大学准教授ゼミ生 会場：宮崎大学まちなかキャンパス</p>		
事業費	32,776円		
対象者	地域住民（小学生）		
参加者数 (内訳)	小学生5・6年生 6名		
住民の声（アンケートの結果等）			

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A		広報	⑤事業の周知	A	A	
	②住民の参加	B	B			事業の効果	⑥課題解決への作用	B	B
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	B	B				⑦住民の満足度	A	B
	④各種団体との連携	A	A		事業継続の必要性				⑦・無
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（ 年 月事業計画）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（ 年 月実施報告）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								

※「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[7] 地域教育に係る事業

事業名	正しいかけっこ事業	実施年数	3年目
事業期間	開始：令和4年度	終了：年度	
地域魅力発信 プランとの関連	地域の活性化や若者のまちづくりへの参加を促しましょう。		
目的 (期待される効果)	子ども達の体力低下が言われている中、子ども達を対象に専門講師等による走り方教室を開催することで、運動の楽しさを知ってもらい、運動不足の解消や運動の習慣化に繋げていく。		
事業内容・手段	<p>夏休み期間中に、宮崎小学校及び江平小学校に通う小学生を対象とした走り方教室を開催。また、地域の住民により受付やかけっこ教室の見守りや教室のアシスタントにご協力をいただいた。</p> <p>・「かけっこ教室」の日程及び会場 宮崎小学校区：R6.7/26 → 20名参加した。宮崎小学校運動場 R6.8/2、8/9→ 2回は、熱中症警戒アラート発令の為中止 江平小学校区：R6.7/29、8/5、8/12→3回とも熱中症警戒アラート発令の為中止 時間：午前8時30分～午前10時 指導者：宮崎市スポーツ推進委員とNPO法人（4名から6名） 対象者：全3回全てに参加できる小学1～6年生</p>		
事業費	74,294円		
対象者	地域住民（小学生：1～6年生）		
参加者数 (内訳)	宮崎小学校 計20人（申込者数32名） 江平小学校 計 0人（申込者数55名）		
住民の声（アンケートの結果等）	<p>お手本の先生の走り方がきれいだった 本番前の体育館での走り方の基本を学べて良かった 先生に走り方の姿勢が良いとほめられた。</p>		

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	① 域ニーズの把握	A	A		広報	⑤事業の周知	A	B	
	②住民の参加	A	A			事業の効果	⑥課題解決への作用	C	A
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A				⑦住民の満足度	A	A
	④各種団体との連携	A	A		事業継続の必要性				⑦ 無
良かった点・改善点等	<p><良かった点や改善した点等> 委託先の NPO 法人が受付から指導まで実施し、スムーズに事業ができた。今回は熱中症警戒アラート発令の為に6回実施予定が1回しか実施できなかったことから、開催時期や熱中症予防対策として冷房施設のある体育館などでの実施を検討した。</p>								
地域協議会からの意見への対応	<p><地域協議会からの意見（ 年 月・ ）></p> <p><意見への対応></p>						対応	未・済	
	<p><地域協議会からの意見（ 年 月・ ）></p> <p><意見への対応></p>						対応	未・済	

※「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[8] その他の事業

事業名	事務局管理運営事業	実施年数	13年目
事業期間	開始：平成24(2012)年度	終了：	年度
地域魅力発信プランとの関連	自治会未加入対策など地域力の向上を図りましょう		
目的 (期待される効果)	まちづくりの各事業案内や取組状況などを広く地域住民に周知し、より多くの事業への参加を喚起する。また、企業へも案内し一緒に参加できるようにする。住民の世代間交流を図ることで将来を担う人材を育成し、地域活性化や課題解決に繋げていく。		
事業内容・手段	<p>①広告事業収入 3月号の合同広報誌に事業所等からの広告チラシを折り込むことで、広告収入を得ながら地域住民に有益な情報を提供した。</p> <p>②情報発信活動 ◎合同広報誌の発行・配布（各A4版10ページカラー印刷） 年に2回広報誌、まちづくり推進委員会・地域自治区地域協議会・地区社会福祉協議会・地区交流センターが合同で誌を作成し、8月号はタウンプラスにより、地域内の企業や自治会（未加入世帯を含む）全世帯へ配布した。3月号は前述の各団体と合同で作成し自治会・各学校PTA戸数にて配布した。 ◎フェイスブックの活用 若い世代を中心にまちづくりへの関心を高めてもらうために、QRコードを広報誌に印刷するなどして、地域の情報を発信する。</p> <p>③掲示板維持管理 設置済みの掲示板（18ヶ所）を補修点検及び清掃を行った。</p> <p>④会議開催 役員会及びその他部会議等の開催がスムーズに進行できるように、会議場所の確保や事前資料の準備等の手伝いをした。</p>		
事業費	2,146,514円		
対象者	中央東地域住民（事業所等含む）		
参加者数 (内訳)	<p>①広告事業： 法人事業所2社</p> <p>②8月号： 20,400部 3月号： 7,500部</p> <p>③掲示板： 業者依頼の掲示板補修0（R6 12月現在）</p>		
住民の声（アンケートの結果等）	※ アンケート等無		

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A		広報	⑤事業の周知	A	A	
	②住民の参加	B	B			事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A				⑦住民の満足度	B	B
	④各種団体との連携	A	A		事業継続の必要性			○有・無	
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等> 企業等からの広告チラシを折り込んだことで、自己資金を得たとともに、地域住民に有益な情報を提供することができた。								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（ 年 月 ）> <意見への対応>						対応	未・済	
	<地域協議会からの意見（ 年 月 ）> <意見への対応>						対応	未・済	

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

(様式第6号)

令和6年度 事業別収支計算書

中央東地域自治区
中央東まちづくり推進委員会

事業名	地域の子ども見守り事業
-----	-------------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	118,000	
2	繰越金	0	
3			
4	合計(A)	118,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	需用費	62,920	消耗品費 見守り隊ベスト10着(プリント代込) 44,660 見守り隊キャップ10個(プリント代込) 18,260
2	役務費	660	代引き手数料 660
3	合計(B)	63,580	

収支差額(A) - (B)	54,420
---------------	--------

(様式第6号)

令和6年度 事業別収支計算書

中央東地域自治区
中央東まちづくり推進委員会

事業名	防災訓練事業
-----	--------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	99,020	
2	繰越金	0	
3			
4	合計(A)	99,020	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	報償費	10,000	防災セミナー謝金 10000
2	需用費	2,246	消耗品費 A4クリップボード 1,100
			食糧費 お茶代 1,146
3	役務費	4,000	役務費 保険料 4,000
5	合計(B)	16,246	

収支差額(A) - (B)	82,774
---------------	--------

(様式第6号)

令和6年度 事業別収支計算書

中央東地域自治区
中央東まちづくり推進委員会

事業名	防災学習事業
-----	--------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	150,000	
2	繰越金	0	
3	合計(A)	150,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	報償費	0	
2	需用費	117,789	消耗品費 塩おにぎり 112,320 お茶代 5,469
3	役務費	1,100	振込手数料 1,100
4	使用料及び賃借料	0	
5	合計(B)	118,889	

収支差額(A) - (B)	31,111
---------------	--------

(様式第6号)

令和6年度 事業別収支計算書

中央東地域自治区
中央東まちづくり推進委員会

事業名	備蓄品購入事業
-----	---------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	66,000	
2	繰越金	0	
3	合計(A)	66,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	需用費	65,232	消耗品費 保存食塩おにぎり150袋 60,400 消費税 4,832
2	役務費	550	振込手数料 550
5	合計(B)	65,782	

収支差額(A) - (B)	218
---------------	-----

(様式第6号)

令和6年度 事業別収支計算書

中央東地域自治区
中央東まちづくり推進委員会

事業名	げんきづくりふれあい事業
-----	--------------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	190,000	
2	繰越金	0	
3	合計(A)	190,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	報償費	51,500	講師謝金 健幸体操謝金 31,500 ロコモ講座 20,000
2	需用費	26,456	チラシ代 18,700 参加賞 4,180 お茶 3,576
3	役務費	13,470	通信運搬費 はがき代 630 レターパック 6,990 切手代 3,850 ロコモ 保険代 2,000
4	使用料及び賃借料	1,800	公民館使用料 1,800
5	合計(B)	93,226	

収支差額(A) - (B)	96,774
---------------	--------

(様式第6号)

令和6年度 事業別収支計算書末)

中央東地域自治区
中央東まちづくり推進委員会

事業名	認知症サポーター養成講座事業
-----	----------------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	49,000	
2	繰越金	0	
3	負担金		
4	合計(A)	49,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	需用費	24,838	消耗品費 ・ サランラップ(参加賞) 3,080 ・ チラシ用紙 18,700 食糧費 ・ お茶代 3,058
2	役務費	2,595	通信運搬費 ・ 切手代 595 保険料 (@50×40名) 2,000
3	使用料及び賃借料	1,500	使用料 ・ 会場費 1,500
4	合計(B)	28,933	

収支差額(A) - (B)	20,067
---------------	--------

(様式第6号)

令和6年度 事業別収支計算書

中央東地域自治区
中央東まちづくり推進委員会

事業名	地域とお年寄りの交流事業
-----	--------------

(1) 収入の部 (単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	169,000	
2	繰越金	0	
3	負担金		
4	合計(A)	169,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	需用費	101,560	消耗品費 ・宮小、江平小参加賞 101,200 (自由帳400冊、名入れ) ・コピー代 360
2	役務費	13,328	通信運搬費 ・切手代 13,328
3	合計(B)	114,888	

収支差額(A) - (B)	54,112
---------------	--------

(様式第6号)

令和6年度 事業別収支計算書

中央東地域自治区
中央東まちづくり推進委員会

事業名	子育て応援事業
-----	---------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	0	
2	繰越金	0	
3	負担金	29,000	赤ちゃんハイハイ競争参加者500円×58名
4	合計(A)	29,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳	
1	需用費	20,250	消耗品費	
			参加賞・景品	13,515
			食糧費	
			お茶、コーヒー	3,259
2	役務費	4,750	賄材料費	
			豚汁材料	3,476
3	報償費	4,000	保険代	
			切手代	4,090
			手数料(口座振込)	
			660×1	660
3	報償費	4,000	謝金	
			司会	3,000
			駐車場整理	1,000
4	合計(B)	29,000		

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

(様式第6号)

令和6年度 事業別収支計算書

中央東地域自治区
中央東まちづくり推進委員会

事業名	生ごみ減量ダンボールコンポスト普及事業
-----	---------------------

(1) 収入の部 (単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	196,000	
2	繰越金	0	
3	負担金	21,700	受益者負担金
4	合計(A)	217,700	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	報償費	8,000	講師謝金 ・ダンボールコンポスト・寄せ植え謝金 8,000
2	需用費	106,325	消耗品費 ・広報用紙 18,700 ・野菜のタネ、野菜の苗 0 ・ダンボールコンポストセット一式(ダンボール函・底板・基材・コンポストキャップ・組立用テープ、小冊子) 54,160 ・花代 29,968 ・培養土、薬剤肥料 1,968 ・温度計 0 ・コンテナ 0 ・ポリエチレン手袋、ゴミ袋、作業用手袋 0 ・グレー鉢、タコ 0 食糧費 ・お茶代 1,529
3	役務費	8,383	保険料 講座保険 3,000 ボランティア保険(畑活動) 1,750 通信運搬費 切手代 3,633
4	使用料及び賃借料		
5	合計(B)	122,708	

収支差額(A) - (B)	94,992
---------------	--------

(様式第6号)

令和6年度 事業別収支計算書

中央東地域自治区
中央東まちづくり推進委員会

事業名	動物愛護環境活動事業
-----	------------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	0	
2	繰越金	700,000	
3	合計(A)	700,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	報償費	3,000	講演会謝金 3,000
2	需用費	38,700	消耗品費 チラシ用紙第 18,700 リフレベスト 20,000
3	役務費	603,085	保険料 ・ボランティア保険(350円×16人) 5,600 ・講演会保険 2,150 手数料 ・避妊、去勢手術手数料(雄雌42匹分) 594,825 通信運搬費 ・切手代 510
4	使用料及び賃借料	1,000	講演会会場代 1,000
5	合計(B)	645,785	

収支差額(A) - (B)	54,215
---------------	--------

(様式第6号)

令和6年度 事業別収支計算書

中央東地域自治区
中央東まちづくり推進委員会

事業名	大淀河畔たまゆらまつり事業
-----	---------------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	435,732	
2	繰越金	452,268	
3	負担金	0	
4	合計(A)	888,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳	
1	需用費	298,943	消耗品費	
			チラシ用紙	22,440
			食糧費	
			お茶代	2,158
2	役務費	11,465	印刷製本	
			ポスター、チラシ、うちわ印刷代	274,345
			通信運搬費	
3	委託料	380,125	はがき代・切手	1,125
			手数料(口座振込)	
			550×3	1,650
4	使用料及び賃貸料	192,755	保険料	
			スタッフ、来場者	8,690
3	委託料	380,125	警備スタッフ代	82,500
			ステージ、仮設トイレ、照明機材一式	297,625
4	使用料及び賃貸料	192,755	使用料及び賃貸料	
			テント、テーブル、椅子他一式	192,755
6	合計(B)	883,288		

収支差額(A) - (B)	4,712
---------------	-------

(様式第6号)

令和6年度 事業別収支計算書

中央東地域自治区
中央東まちづくり推進委員会

事業名	栄町児童公園ふれあいまつり事業
-----	-----------------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	400,000	
2	繰越金		
3			
4	合計(A)	400,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	報償費	0	
2	需用費	0	
3	役務費	880	振込手数料 880
4	使用料及び賃借料	150,000	使用料及び賃借料 ふれあい移動動物園 150,000
5	合計(B)	150,880	

収支差額(A) - (B)	249,120
---------------	---------

(様式第6号)

令和6年度 事業別収支計算書

中央東地域自治区
中央東まちづくり推進委員会

事業名	朝活プラス事業
-----	---------

(1) 収入の部 (単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	268,000	
2	繰越金	0	
3	負担金	0	
4	合計(A)	268,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	報償費	90,000	講師謝金 スマホ講座・布ぞうり講座 90,000
2	需用費	34,015	消耗品費 ・チラシ用紙 29,920 食糧費 ・お茶代 4,095
3	役務費	17,616	通信運搬費 ・はがき、切手代 5,616 講座保険 スマホ講座・布ぞうり講座 12,000
4	使用料及び賃借料	0	
5	合計(B)	141,631	

収支差額(A) - (B)	126,369
---------------	---------

(様式第6号)

令和6年度 事業別収支計算書

中央東地域自治区
中央東まちづくり推進委員会

事業名	地域の魅力発信事業
-----	-----------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	299,500	
2	繰越金	0	
3	負担金	0	
4	合計(A)	299,500	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	報償費	6,000	講師謝金 6,000
2	需用費	24,225	消耗品費 ・チラシ用紙 18,700 ・資料代 4,000 食糧費 ・お茶代 1,525
3	役務費	2,050	保険料 (@50×30名) 1,500 手数料(口座振込) 550
4	使用料及び賃借料	0	
5	備品購入費	99,660	デジタルコンパクトカメラ一式 99,660 (デジタルカメラ、カメラケース、SDXCカード、アクセサリキット)
6	合計(B)	131,935	

収支差額(A) - (B)	167,565
---------------	---------

(様式第6号)

令和6年度 事業別収支計算書

中央東地域自治区
中央東まちづくり推進委員会

事業名	地域空撮事業
-----	--------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	0	
2	繰越金	250,000	
3			
4	合計(A)	250,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	委託料	330,000	空撮撮影 330,000
2	役務費	550	振込手数料 550
3	合計(B)	330,550	

収支差額(A) - (B)	▲ 80,550
---------------	----------

(様式第6号)

令和6年度 事業別収支計算書

中央東地域自治区
中央東まちづくり推進委員会

事業名	地域の笑顔創出事業
-----	-----------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	159,712	
2	繰越金	0	
3	自己資金(利息)	0	
4	受益者負担金	13,000	
5	合計(A)	172,712	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	報償費	0	
2	需用費	69,236	消耗品費 チラシ用紙 7,480 花火 55,610 ライター・ろうそく・ゴミ袋 3,009 参加賞(お菓子) 3,137
3	役務費	3,200	保険料 花火イベント(江平小・宮崎小) 3,200
4	使用料及び賃借料	12,000	高圧洗浄機レンタル 12,000
5	合計(B)	84,436	

収支差額(A) - (B)	88,276
---------------	--------

(様式第6号)

令和6年度 事業別収支計算書

中央東地域自治区
中央東まちづくり推進委員会

事業名	地域交流「結び・笑(え)」事業
-----	-----------------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	210,000	
2	繰越金	0	
3			
4	合計(A)	210,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	報償費	15,000	講師謝金 昔の遊び・おもちゃ病院 15,000
2	需用費	0	
3	使用料及び賃借料	155,000	ふれあい移動動物園 150,000 トラック使用料 5,000
4	合計(B)	170,000	

収支差額(A) - (B)	40,000
---------------	--------

(様式第6号)

令和6年度 事業別収支計算書

中央東地域自治区
中央東まちづくり推進委員会

事業名	ITちびっこづくりモデル事業
-----	----------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	169,400	
2	繰越金		
3	負担金	3,000	500円×6名
4	合計(A)	172,400	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	報償費	26,000	講師謝金 メイン講師1名 10,000 サブ講師4名 16,000
2	需用費	5,776	消耗品(参加賞) 5,776
3	役務費	1,000	講座保険料 1,000
5	合計(B)	32,776	

収支差額(A) - (B)	139,624
---------------	---------

(様式第6号)

令和6年度 事業別収支計算書

中央東地域自治区
中央東まちづくり推進委員会

事業名	正しいかけっこ事業
-----	-----------

(1) 収入の部 (単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	256,700	
2	繰越金	0	
3			
4	合計(A)	256,700	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	需用費	23,834	消耗品費 冷却材 17,000 チラシ用紙 1,313 食糧費 アクエリアス・OS1 5,521
2	役務費	25,860	保険料 かけっこ塾(江平小・宮崎小) 25,200 振込手数料 660
3	委託料	23,100	講師派遣 23,100
4	使用料及び賃借料	1,500	駐車場代 1,500
5	合計(B)	74,294	

収支差額(A) - (B)	182,406
---------------	---------

(様式第6号)

令和6年度 事業別収支計算書

中央東地域自治区

中央東まちづくり推進委員会

事業名	事務局管理運営事業
-----	-----------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	2,088,936	
2	繰越金	0	
3	自己資金	76,527	預金利息363+1164 折込広告75000
4	受益者負担金		
5	合計(A)	2,165,463	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	賃金	3,500	引継ぎ 3,500
2	需用費	1,068,986	<ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費 <ul style="list-style-type: none"> 文具、事務用品 68,052 事務局封筒角2 (1,000枚) 20,350 コピー用紙 8,662 ・食糧費 <ul style="list-style-type: none"> 総会、役員会お茶代 18,422 ・印刷製本費 <ul style="list-style-type: none"> <合同広報誌7月発行分> <ul style="list-style-type: none"> 20,400部 (帯代印刷含) 742,500 <合同広報誌3月発行分> <ul style="list-style-type: none"> 7,500部 (地区社協半分負担) 165,000 広告折り込み料2社 44,000 ・修繕料 <ul style="list-style-type: none"> 自転車修理 2,000
3	役務費	927,376	<ul style="list-style-type: none"> ・保険料 <ul style="list-style-type: none"> 掲示板 (18基分) 26,660 かまどベンチ (2台分) 1,840 掲示板 (18基) 3,780 ・通信運搬費 <ul style="list-style-type: none"> タウンプラス利用料 (広報誌夏号) 720,468 切手代 (部会員、役員等) 17,009 事務局電話料等 141,489 往復はがき 13,600 ・手数料 <ul style="list-style-type: none"> 振込手数料 <ul style="list-style-type: none"> (@330×1ヶ所) ・ (@550×4ヶ所) 2,530
4	旅費	0	0
5	賃借料	146,652	・ パソコンリース代 (3台分) 146,652
6	合計(B)	2,146,514	

収支差額 (A) - (B)	18,949
----------------	--------

(様式第9号)

宮崎市地域コミュニティ活動交付金繰越届出書

令和7年4月11日

宮 崎 市 長 殿

主たる事務所の所在地 宮崎市橘通西3丁目10番32号
名 称 中央東まちづくり推進委員会
代表者の氏名 委員長 太田 修子 印
電 話 番 号 0985-27-6240

令和7年3月7日付けで交付決定のありました宮崎市地域コミュニティ活動交付金については、決算において1,425,154円の残高があり、繰越金として次年度の会計へ繰り越しますので届け出ます。

添付書類

令和6年度収支決算書

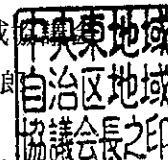
令和6年度 中央東まちづくり推進委員会への意見書（事業実施報告）

中央東地協第9号

令和7年3月7日

中央東地域自治区地域協

会長 長田 一郎



令和6年度の中央東地域自治区の地域まちづくり事業実施報告及び収支決算（見込）について、事業計画及び収支予算に沿って適正に執行されていきましたので、承認いたします。

記

1. 総括

中央東まちづくり推進委員会設立から10年以上が経過し、多様な事業の実施と地域の各種団体等との連携により、まちづくりの活動が地域に根付いてきたと思われます。しかし、事業、参加者が固定化しているものもあるため、事業の発展性を高める工夫の検討をお願いします。

また、事業を継続していく中で、内容が充実して規模が大きくなれば、その分予算も大きくならざるを得ません。全体の事業のバランス等を考慮したうえで、適正な事業規模の検討をお願いします。

2. 事業の推進体制

各事業とも地縁団体や関係団体等と協力及び連携を行い、情報共有を図りながら、地域住民に寄与する事業の実施をお願いします。

3. 各事業への意見（意見のある事業のみ記載）

事業名	意見
防災訓練事業	地震、台風・豪雨など昨今の自然災害の発生状況から、防災等に関する地域住民の意識が高まっており、重要な事業だと考えます。しかしながら、令和6年度の取り組み内容及び事業費は少ないのではないかと思います。 令和7年度以降は、これまでの事業にとどまらず、地域住民のニーズに応えた様々な取り組みが実施できるよう検討をお願いします。
動物愛護環境活動事業	TNR活動は継続性が重要であると考えます。そのため、本事業のみでなく、自治会やNPO団体、みやざき動物愛護センター等における取り組みと連携・協力し、効果的及び効率的に実施するようお願いします。

4. その他

特になし